

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
TA221001	プロジェクト演習(Exercises in advanced research projects)					必修											
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	1~3	工学研究科 博士後期課程			氏名 博士後期課程研究指導教員  E-mail 内線											
授業の概要	各専門分野の第一線において研究および開発をリードできる研究者・技術者となるための、問題発見能力、企画提案能力、マネージメント力、コミュニケーション能力および協調性・リーダーシップを身につけるための基礎能力修得を目指す。																
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	問題発見能力、企画提案能力の習得																
目標2	マネージメント力の習得																
目標3	コミュニケーション能力の習得																
目標4	協調性・リーダーシップの習得																
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	プロジェクトテーマに対する研究開発計画の設定、実行計画を策定し、実際の外部資金へ応募するとともに、内容のプレゼンテーションを行う。																
2	プロジェクトテーマに対する研究開発計画の設定、実行計画を策定し、外部組織と連携して、計画したプロジェクトを実行し、その結果をレポートにまとめる。																
3	プロジェクトテーマに対する研究開発計画の設定、実行計画を策定し、専攻や学科において、計画したプロジェクトを実行し、その結果をレポートにまとめる。																
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
ラ ア ク ニ テ ン イ グ レ ブ	A:知識の定着・確認	計画のプレゼンテーションと議論による確認を行う。				工 夫 そ の 他 の	指導教員と相談し、授業内容のうち1つ以上を選び、具体的な計画を立てて実施する。										
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	計画書の作成(5h)。関連分野の論文等を調べる(10h)。プレゼンテーション資料作成(10h)。															
	事後学修	レポート作成(10h)。追加情報に関する論文等を調べ、理解を深める(10h)。															
教科書	教科書は特に使用しないが、レポート作成等に必要な資料等は自分で準備すること。																
参考書	必要に応じて紹介する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	レポートまたは計画書	50%															
	プレゼンテーションと議論	50%															
注意事項																	
備考																	
リンク	URL																

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
TA22G002		国際実践演習(Advanced international engineering skills)					選択										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択必修	2	1~3	工学研究科 博士後期課程			氏名 博士後期課程研究指導教員  E-mail 内線											
授業の概要	国際学会における投稿論文の審査,あるいは,国際会議における発表審査を念頭においた研究論文の執筆や校正,あるいは研究討論などの国際的な学術的スキルの習得,あるいは,技術をベースに,国際社会で通用する説明および説得能力の修得を目指す。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 国際的な学術的スキルの習得																	
目標2 国際社会で通用する説明および説得能力の修得																	
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 専門分野の国際学会の論文審査基準に基づくコンテンツ分析と論文執筆技法を習得し,レポートにまとめる。																	
2 英語論文を執筆し,国際会議もしくは学内において同等形式での発表・討論会において成果発表を行う。																	
3 受講生が技術や社会分野からテーマを選び,英語によるプレゼンテーションを実施する。																	
4 海外での短期あるいは長期留学を行い,現地での研究や技術での交流経験をレポートとしてまとめる。																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
ラ ア ク の ニ テ ン イ グ レ ブ	A:知識の定着・確認	プレゼンテーションと議論による確認を行う。				工 夫 そ の 他 の	指導教員と相談し,授業内容のうち1つ以上を選び,具体的な計画を立てて実施する。										
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	関連分野の英語論文を調べる(15h)。プレゼンテーション資料作成(10h)。															
	事後学修	レポート作成(10h)。追加情報に関する英語論文を調べ,知識を深める(10h)。															
教科書	教科書は特に使用しないが,レポート作成等に必要資料等は自分で準備すること。																
参考書	必要に応じて紹介する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	レポート	50%															
	プレゼンテーションと議論	50%															
注意事項																	
備考																	
リンク	URL																

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
TA22G003	俯瞰力養成セミナー(Broad perspective capacity training seminar)					選択										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択必修	2	1~3	工学研究科 博士後期課程			氏名 博士後期課程指導教員  E-mail 内線										
授業の概要	先端的科学・技術について幅広い理解力を身に付け、技術経営分野に関する思考力を修得し、多様性に富む応用能力の向上を目指す。															
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	先端的科学・技術について幅広い理解力を身に付ける															
目標2	技術経営分野に関する思考力を修得する															
目標3	科学・技術の視点と技術経営分野の思考との連携によって、産業界を中心とした現代社会の実情を捉えることができるようにする															
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1	産業と技術経営分野の分析															
2	主専門領域以外の講義の聴講															
3	主専門以外の工学系分野の修得															
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
ラーニング チェック ポイント グループ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	指導教員等とのディスカッション等により確認を行う。				工夫 その 他の	指導教員と相談の上で、授業内容の3つの項目のうち1つを選び、レポートを作成するか、あるいは2つ以上の項目についてレポートを作成する。									
時間外学習 の内容と時間 の目安	準備 学修	情報の収集および解析もしくは講義等の聴講(30h)。														
	事後 学修	レポートの作成(45h)。														
教科書	教科書は特に使用しないが、レポート作成等に必要な資料等は自分で準備すること。															
参考書	必要に応じて紹介する。															
成績評価 の方法 及び 評価 割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10				
	レポート	100%														
注意事項																
備考																
リンク	URL															

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式											
TA22G004		キャリアパス設計(Career-path design)					選択												
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員													
選択必修	2	1~3	工学研究科 博士後期課程			氏名 博士後期課程指導教員  E-mail 内線													
授業の概要	博士としてのキャリア形成に必要な実戦的なスキルを修得することを目指す。																		
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
目標1	さまざまな分野の現状や考え方，課題解決方法を理解する																		
目標2	多彩なキャリアを把握する																		
目標3	将来の社会や技術の動向を考えたキャリアパスを考えられるようにする																		
目標4	志をもって多様な問題に取り組んでいくことができるようにする																		
目標5																			
目標6																			
目標7																			
目標8																			
目標9																			
目標10																			
授業の内容																			
1	キャリア形成に関する学外講演会等の利用																		
2	MOT特論の受講および企業研究																		
3	人材育成事業への参加																		
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
ラック ニテン イグ	A:知識の定着・確認	指導教員等とのディスカッション等により確認を行う。					工 夫 そ の 他 の	指導教員等と相談し，授業テーマを決め，それを実践し，レポートをまとめる。											
	B:意見の表現・交換																		
	C:応用志向																		
	D:知識の活用・創造																		
時間外学修 の内容と時 間の目安	準備 学修	選択したテーマに関する情報の収集と分析(25h)。講演の受講等(30h)。																	
	事後 学修	レポートの作成(20h)。																	
教科書	教科書は特に使用しないが，レポート作成等に必要な資料等は自分で準備すること。																		
参考書	必要に応じて紹介する。																		
成績 評価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10							
	レポート	100%																	
注意事項																			
備考																			
リンク																			
	URL																		